

# 響き合う音色に感動

## 岩手大吹奏楽、普代中も共演

村教委主催の岩手大吹奏楽部（中村早希部長、部員70人）演奏会が9月22日、村社会体育館で開かれました。

同大と普代中（木村利光校長、生徒105人）の吹奏楽部の合同演奏も行われ、響き合う音色に感動していました。

村内の全小学校と地域の皆さんなど約370人が参加。2部構成で第1部は同大がカーペンターズの「青春の輝き」、日本各地の民謡メドレーなど5曲を演奏しました。曲間には学生たちがフルー



岩手大吹奏楽部の迫力ある演奏が体育館内に響き渡りました

トやサククスなどの楽器を紹介。子どもたちは好きな楽器を触ったり、音を出したりして、音楽を身近に感じていました。

第2部の合同演奏は同大と同校の55人でマーチ「星条旗よ、永遠なれ」、映画インザグダールズの挿入歌「インザムード」など3曲に挑戦しました。アンコールは「マツケンサンバII」。会場には軽快なリズムに合わせて手拍子する子どもたちの笑顔があふれていました。

同校吹奏楽部の澤口沙紀部長（3年）は「この日のためには練習しました。大学生とのジョイントは初めてで、少し緊張しましたが、大勢の演奏は楽しかったです」と満足そうでした。

同大吹奏楽部は音楽の魅力を広く知ってもらおうと年5回程度、県内外の小中学校で活動を続けています。

## 自分の健康 自分でチェック

### 心の健康づくり教室に20人



自分なりの「より良い休養」について話し合う参加者の皆さん

心の健康づくり教室が10月12日、役場大会議室で開かれ、約20人がうつ病について理解を深め、自分の健康は、自分でチェックすることの習慣化が大切なことを学びました。

岩手医科大学医学部神経精神科の大塚耕太郎さんが、うつをはじめとする心の問題と予防、対応策などを講話。「心と体の健康には、『栄養・運動・休養』の3要素が大切。体と心は密接につながっています。体を休めることが心を休めることにもつながります」と話しました。

皆さんはグループに分かれそれぞれの「より良い休養」について話し合い、それぞれ自分の健康を見直すきっかけとなりました。



古里の神楽の舞いを懐かしむふるさと普代会会員の皆さん

## 東京で古里の神楽を鑑賞

### 17回ふるさと普代会の集い

東京ふるさと普代会（澤口俊夫会長、会員176人）の17年度の総会と集いが10月23日、東京都千代田区の九段会館で行われ、会員ら約80人が出席しました。

総会は16年度の事業報告や決算、17年度の事業計画、予算を満場一致で承認。役員改選では新会長に澤口俊夫会長代行が決まりました。

総会終了後の懇親会では各テーブルで思い出話や近況報告に花が咲き、村から駆け付けた鶺鴒神楽保存会のメンバーによる古里の神楽を楽しんだほか、カラオケや会員の皆さんが持ち寄った雑貨品などのオークションも行われ、皆さん楽しいひとときを過ごしました。